



女も男も 自分らしく

No. 39

輝け！なんぶ！

これからの社会……

「男女共同参画」は「地域活性化」のための必要条件！

今回は、昨年の12月に開催された『ぴゅあフェスティバル2024』についてご紹介します！

昨年12月14日（土）にぴゅあ峡南にてぴゅあフェスティバルが開催され、峡南地域より多くの参加者が訪れました。フェスティバルは、午前・午後の部に分かれており、午前中はぴゅあ総合・峡南・富士の3会場をWebで繋いでの講演会の開催や展示会等、午後の部では旧富河中学校体育館を利用して、リズムオブラブ主催の渡辺光美先生による防災教室が行われました。



【午前の部】



映像ジャーナリストの「伊藤詩織さん」より『わたし』であるために『女らしさ、男らしさ』について～世界のFGM取材から考える～と題して講演会が行われました。

FGMとは女性器切除の意味で、幼少期から15才頃までに通過儀礼・結婚の条件として、世界中の国々で約2億人の人々が経験し、慣習として続けられてきました。医療従事者でもない人が不衛生な環境下で、麻酔もなく女性器の一部を切除するため、出血や激痛を引き起こし、最悪命を落とす少女たちもいるという大変ショッキングな内容でした。

現在は法律でFGMは禁止されていますが、情報も乏しい地域では今もなお行われているそうです。講師の詩織さんは、実際に現地の儀式に取材のため参加した時に、マラリアと腸チフスに罹患しましたが「儀式の最中に抜け出してはならない」と言われ閉じ込められてしまい、九死に一生を得る経験もされたとのこと。そして「社会から求められているものに従わなければならないことは、FGMを受けているのと同じ。日本でも、社会やコミュニティの中で『らしさ』を強要している恐れがある。それを社会全体で気づき、見直していく必要がある。」とおっしゃっていました。

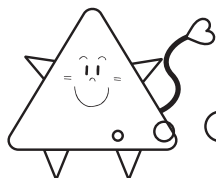
【午後の部】



甲府市在住の防災士・健康安全郷育アドバイザー・山梨大使であり、リズムオブラブ主催の渡辺光美先生による、新しい防災・防犯の考え方『フェーズフリー』について楽しく学ぼう～かけがえのない大切な命を守る心と体づくり～と題してワークショップが行われました。

『フェーズフリー』とはいつもの暮らしの＜日常時＞と災害が起きた時の＜非常時＞の2つのフェーズを区別せず、普段から使っているものを災害時にも役立てる考え方です。

キャンプ道具もそれに当てはまり、キャンプ体験など是有効な備えと言えるとのこと。また、非常時の「いざ」という時には「自助」が大切であることから、身体を動かすリズム体操を行うことで、渡辺先生の明るい掛け声のもと、終始楽しく防災意識を高めることができました。



さんかくーん

～南部町男女共同参画審議会～

男女共同参画の輪を広げていくためにも、来年はもっともっと多くのみんなに参加してもらいたいね



南部町男女共同参画審議会事務局
お問合せ：☎66-3401